



～川崎市技能職団体連絡協議会（技連協）とは～

技連協とは、「川崎市技能職団体連絡協議会」の略称で、昭和48年に設立された技術・技能職者の団体です。

技協連は、川崎市の技能職団体どうしの連絡調整等を行いながら、技術・技能職者の社会的地位と技術・技能の向上に取り組むとともに、「ものづくりのまち川崎」の財産である技術・技能の継承、次世代を担う後継者の育成を支援しています。現在43職種62団体(約23,000人)で構成され、様々な活動を行っています。

内部組織として、50歳未満の青年技能者で組織する「青年部」と、技能者の婦人及び女性技能者で組織する「婦人部」があります。

技連協の主な活動は

- (1) 会員向けのさまざまな研修会・講習会
- (2) 会員交流のレクリエーション
- (3) 「てくのかわさき技能フェスティバル」など小・中学生を対象とした技能職者による実演・体験イベントの実施
- (4) 後継者育成事業「技能職者に学ぶ」の実施(技能職者を中学校へ講師として派遣)
- (5) マーケティング支援等の経済振興に向けた取り組み
- (6) 災害時における技能職者による地域支援に向けた取り組み などです。

てくのかわさき技能フェスティバル

川崎の産業を支える「ものづくり」の啓発、技術・技能の継承、後継者の育成に向け、市内ものづくり職人の拠点である「てくのかわさき」で、生活に身近な職人の「技」にスポットを当てたイベントを毎年9月末ころに開催しています。



日ごろ接する機会が少ない、様々な職種の卓越した「技」を間近に見学し、直接匠らに指導を受けられる体験コーナーや、職人の「技」による一品(逸品)の即売会等のコーナーを設け、生活に密着した技術・技能の世界を、来場者が楽しく体験・理解できるイベントとします。

また、後継者育成に向けて、将来を担うこどもらが技術・技能の魅力に直接触れることができる機会の一つとして、市内小・中学生にも広く参加を呼びかけています。

後継者育成事業「技能職者に学ぶ」



石工職による表札づくりの体験学習

技能職者を各区の中学校へ講師として派遣し、技能職者が長年培ってきた技術・技能を、体験学習等を交えながら中学生に紹介することで、自分の進路や職業について考える動機付けを図るとともに、「ものづくりのまち川崎」を支える、技術・技能職についての理解を深めることを目的として実施します。